

修学旅行を行いました

生徒たちの清々しい姿（行動）が、しばらく私の心に残りそうです。

先日、5月19日（木）～21日（土）の3日間、関西・四国方面への修学旅行（3年生）を行いました。（本年度は、貸し切りバスで移動可能な目的地とするよう市教育委員会から通知がありました。）今回、県外への修学旅行で、不安を感じてみえた方も当然いるなかで生徒たちを送り出していただいた3年生の保護者のみなさまに感謝申し上げます。

修学旅行に関してのエピソードなどは、3年生の学年通信や学級通信を通じて紹介されると思います。そちらもご覧ください。ここでは、全体の様子を一部ご紹介します。

【1日目（19日）】

○ 神戸海洋博物館と中華街（南京町）散策

学校から目的地までは、気になるような渋滞もなく順調に進みました。

最初の見学地となる『神戸海洋博物館』から班別行動がスタートしました。

港町神戸の歴史等を知る上でも興味深い場所でした。生徒は館内で熱心に見学し、メモを取る姿が見られました。

博物館から中華街へは徒歩10分程度の距離でしたが、各班ともまとまって行動することができていたと思います。

○ 人と防災未来センター見学



この施設では、1995年1月に発生した『阪神・淡路大震災』について映像や展示物を通して学ぶとともに、当時の様子や防災に対する意識を高めていくことについて講演を聞きました。

この施設でも生徒たちは、映像や展示物を熱心に見ながらメモを取っていました。また、早朝からの活動で疲れはあったと思いますが、講演会でもしっかりと話を聞くことができていたと思います。それらの姿に好感が持てました。

○ 北野・工房のまち周辺散策

ここには、異国情緒が感じられるエリアがあり、体力的に元気のあるグループは行動範囲を広げて地域を見学していました。

班行動をすることが約束となっていたため、班員内で『どうする？（坂の）上の方まで行く？』など、やり取りする声が聞こえていました。このような場面でも、決めたことを守っていかうという姿が見てとれました。



○ 宿泊先



宿泊先のホテルに入る際、「よろしくお願いします。」などの声をホテルの従業員の方にかける生徒の姿が何人かありました。たった一言かもしれませんが、温かさが感じられました。

また、時間を意識して行動することができていました。ちなみにこの3日間、集合時刻を守れずに注意される場面は、私が知る限りではありませんでした。

【2日目（20日）】

○ 渦の道見学

ここでは、大鳴門橋下部を徒歩で移動し、瀬戸内海の『渦潮』を見学しました。写真などで見るような大きな渦は見ることはできませんでしたが、潮の流れ（小さな渦）は十分確認できました。

移動に使う歩道は広いところではありませんでした。前方から他の見学者が歩いて来られる姿が見えると、「右へ寄って」と生徒が自ら声を出して周りに知らせる姿があり感心しました。



○ 大塚国際美術館見学

広い館内を班別で見学して回りました。美術の教科書等で見る絵画が多数展示されていることもあり、ここでも興味深く見学する（写真に残そうとする）生徒は多かったように思います。

ただ、もう少し見学時間が欲しい場所だったかもしれません。（個人的な感想も含まれていますが。）



○ 中野うどん学校でのうどん打ち体験

ここでは、『うどん打ち体験』を行いました。うどん打ち体験は、なかなか経験することができないこともあり、生徒は指導者の指示を聞きながら、慎重に取り組んでいました。

自ら切ったうどんを持ち帰りましたが、ふぞろいな太さのうどんが手作りの証だと思います。



【3日目（21日）】

○ ユニバーサルスタジオジャパンでのグループ行動



最終日は、ユニバーサルスタジオジャパンでのグループ行動です。空模様が心配されましたが、何とか雨も持ちこたえてくれました。生徒は3日目の疲れもほとんど見せず、楽しく過ごしていたようです。

こうして3日間の旅行が終了しました。

3日間の生徒の様子からは、素敵な姿が多々見受けられました。修学旅行生徒実行委員会を中心に、中学校生活最初で最後の宿泊行事を成功させようと、大変よく頑張っていたと思います。これらの成果（姿）を今後の学校生活のなかで活かしていき、大池中学校の最上級生として下級生を引っ張って行ってください。